



つなげよう、つながろう、“神奈川の防災・減災の人と智”

大学研究者と地域をつなぐ防災・減災研究集会

かながわを舞台に活動する大学研究者からの地域における防災・減災活動の発表と、地域で防災・減災活動を展開している方々のつながりを、より一層、強化するための研究集会を開催します。

○開催日時：平成30年3月21日(水・休日) 13:30~17:00

○開催場所：神奈川大学1号館1-308号室

第1部：“大学研究者は、神奈川の防災・減災に、いかに貢献できるか？”（約2時間）

○活動報告者及び専門分野（予定：あいうえお順）

- 1) 横浜市立大学 准教授 石川永子：建築・都市計画。避難所運営訓練、要援護者対策等
 - 2) 神奈川大学 教授 荻本孝久：建築学科。阪神・淡路大震災後、地域と連携した活動展開
 - 3) 東京大学 准教授 加藤孝明：都市防災、地区防災計画等
 - 4) 神奈川歯科大学 教授 李昌一：災害医療歯科学
 - 5) 国際医療福祉大学 准教授 山下留理子：在宅看護学、公衆衛生看護学、災害看護、災害医療
 - 6) 関東学院大学 准教授 渡部洋：建築・環境学部。構造、建築等ハード対策研究
- 司会：中川和之（時事通信社 解説委員）

第2部：地域の防災・減災活動ポスター発表（約1時間半）

※神奈川県下で、地域で活動している各種団体から「活動状況、活動上の悩み・困りごと、課題等」を、A1版(A3版×4枚程度)またはA2版(A3版×2枚程度)の大きさのポスターをパネルに展示・発表していただき、参加者・団体や大学研究者等と意見交換をします。

配布したい資料等は、直接会場にお持ちください。

※ポスター発表を行いたい団体（先着10団体）を募集します。下記宛に奮ってお申し込みください。

○参加費：無料（定員 80名） 懇親会費：1,500円

○主催：“かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク”

○共催：神奈川大学、防災塾・だるま

○後援：神奈川新聞社

○参加申込み・問い合わせ先：(株)防災&情報研究所

e-mail：idpis2@idpis.co.jp

Tel：03-3249-4120

Fax：03-3249-7296

平成29年度第2回研究集会の開催にあたって



神奈川県は、大地震や風水害、火山災害などの災害危険がきわめて高い地域です。阪神・淡路大震災や新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、広島豪雨災害や九州北部豪雨等では、神奈川県からも自治体やボランティア団体等が被災した地域に支援活動に赴いています。

しかしながら、神奈川県においては、風水害や箱根山の噴火災害等が発生しており、今後発生が懸念されている首都直下地震等にはいかに取り組むかなど、課題は山積しています。

本ネットワークは、平成25年度から3年をかけて実施した文部科学省からの助成研究「神奈川県に係る防災研究データベースの活用を起爆剤とした官学民連携による地域防災活動活性化研究」によって把握された、神奈川県下の地方自治体、企業、学校、研究者や地域の防災に取り組む方々と支援する方々をつなぎ、平成28年3月に発足しました。

その後、ネットワークの力を強める試みが徐々に動き始めており、昨年11月に開催した研究集会では自治体、自主防災組織、ボランティア団体、学校、大学研究者等20名近い方々からご発表いただき、成功裡のうちに終えることができました。

今回の研究集会では、神奈川県下で熱心に防災・減災活動に取り組んでおられる大学の研究者から、活動の現状と課題を発表していただくとともに、地域で防災・減災活動に取り組んでおられる方々から、日頃の活動や悩み・課題等について発表し（ポスター発表）、意見交換を行う場にしたいと考えています。今後の神奈川県の防災・減災力向上に役立てていただくため、ぜひご参加ください。

“かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク”（代表 神奈川大学教授 荻本孝久）

<会場案内>

- ・ 神奈川大学1号館3階 1-308号室

〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区
六角橋3-27-1

TEL: 045-481-5661 (代)

- ・ 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」
下車 徒歩 13分



神奈川大学1号館3階

3月21日研究集会 参加申込書

参加団体名 (所属団体)	
参加者氏名	
連絡先	電話番号 e-mail address:
連絡先住所	
参加の有無	○研究集会 (参加・不参加) ○懇親会 1,500円※研究集会終了後開催予定 (参加・不参加)
ポスター発表申込み 3月12日(月)締切	ポスター発表テーマ(仮): 団体名: